



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東
コード番号 4838 URL <https://www.spaceshower.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 吉人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北島 直樹 TEL 03-3585-3242
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,153	21.7	230	—	244	—	159	471.4
2023年3月期第1四半期	3,414	7.2	△125	—	△24	—	27	△77.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 239百万円 (637.2%) 2023年3月期第1四半期 32百万円 (△73.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	19.03	—
2023年3月期第1四半期	3.35	—

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期第1四半期 ー百万円 2023年3月期第1四半期 1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,647	3,847	50.3
2023年3月期	7,804	3,691	47.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,847百万円 2023年3月期 3,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	8,736	15.1	458	627.9	458	86.3	292	36.0	35.02
通期	16,650	8.2	554	261.3	600	6.5	374	7.5	44.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	8,811,354株	2023年3月期	8,811,354株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	449,881株	2023年3月期	449,881株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	8,361,473株	2023年3月期1Q	8,311,354株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行などに伴い、経済活動の正常化に向けた動きが見られた一方、長期化するロシアによるウクライナ侵攻や円安に伴うエネルギー価格高騰など物価を押し上げる要因が重なり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する、音楽・エンタテインメント業界においては、各種サービスのデジタルシフトが急速に進み、定額サブスクリプションの音楽配信やライブ・イベント動画配信の普及・定着により、コンテンツのデジタル配信市場が堅調な成長を続けるとともに、デジタルプラットフォームの普及により、グローバルに向けたコンテンツ提供が容易となりました。ライブ・イベント市場については、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各制限を撤廃したライブ・イベントの通常開催が多くみられるようになったものの、ファン・ユーザーのマインドや行動変容によってコロナ禍以前の市場環境へ完全回復するには時間を要することが予想されます。

このように社会・経済環境が急速に変化する中、当社グループでは、アーティスト・クリエイターに向けたデジタルを中心とするソリューションの提供や、ユーザー・ファンに向けたライブ・イベント等コンテンツを通じた感動の提供による事業成長を目指すべく、2022年5月13日に、当社グループの中期経営計画「Daylight 2024」（2022～2024年度）を公表いたしました。本中期経営計画において、当社グループの事業セグメントを「メディア セグメント」、「ライブ・コンテンツ セグメント」、「ソリューション セグメント」の3セグメントに再編するとともに、市場が縮小傾向にある既存の有料放送事業を中心とした「メディア セグメント」の収益を守りつつ、「ライブ・コンテンツ セグメント」と「ソリューション セグメント」を成長の重点領域として事業収益の拡大を目指す方針を示すとともに、今後3年間の当社グループの方向性や収益目標を掲げました。2023年3月期からの3カ年、本中期経営計画のもと、事業の成長と企業価値向上の実現に向け、事業計画を推進しております。

当第1四半期連結累計期間においては、2023年5月27日、28日、幕張メッセ国際展示場にて、前年同期に新たに立ち上げた、ヒップホップをテーマとする国内最大規模のフェスティバル「POP YOURS」の2回目となる開催を行いました。結果、チケットソールドアウトとなる約3万人を動員し、お客様だけでなく出演アーティストからも大変好評をいただくことができました。

また、「POP YOURS」開催に合わせ、出演アーティスト4組によるオリジナル楽曲「Makuhari」をプロデュース、リリースし、当第1四半期連結累計期間に1千万回以上の再生回数を記録するストリーミングヒットコンテンツの創出を実現するなど、「POP YOURS」ブランドを活用したフェスティバルの拡大戦略に挑戦し、今後のライブ・コンテンツ領域の事業拡大につながる、新たな一歩を踏み出すことができました。

これら取り組みの結果、売上高は4,153,438千円と前年同期比739,231千円増（同21.7%増）となりました。また、各段階利益につきましては、営業損益は営業利益230,696千円と前年同期比355,706千円増（前年同期は営業損失125,009千円）、経常損益は経常利益244,200千円と前年同期比268,583千円増（前年同期は経常損失24,383千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は159,157千円と前年同期比131,304千円増（同471.4%増）と、増収増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①メディア セグメント

有料放送事業においては、番組販売売上が減少したことなどにより、前年同期比で減収減益となりました。また、映像制作事業においては、ミュージックビデオの制作案件等の受注が減少したものの、コスト削減などにより、前年同期比で減収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は999,004千円と前年同期比167,302千円減（同14.3%減）となり、セグメント損益（経常損益）につきましてはセグメント利益（経常利益）111,254千円と前年同期比26,415千円減（同19.2%減）と、減収減益となりました。

②ライブ・コンテンツ セグメント

ライブハウス事業やエンタテインメントカフェ事業など店舗ビジネスにおいては、コロナ禍からの回復が続いたことに加えて、2023年3月に「あっとほおーむカフェ」の新規出店をしたことによる収容人数の増加などにより、前年同期比で増収増益となりました。イベント事業においても、前年度に続き2回目の開催となった国内最大規模のヒップホップイベント「POP YOURS」がチケットソールドアウトにて開催されたことなどにより、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、売上高は1,748,222千円と前年同期比598,076千円増（同52.0%増）となり、セグメント損益（経常損

益)につきましてはセグメント利益(経常利益)81,274千円と前年同期比247,492千円増(前年同期はセグメント損失(経常損失)166,217千円)と、増収増益となりました。

③ソリューション セグメント

ディストリビューション事業において、音楽配信売上が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、売上高は1,406,211千円と前年同期比308,458千円増(同28.1%増)となり、セグメント損益(経常損益)につきましてはセグメント利益(経常利益)54,011千円と前年同期比51,333千円増(同1917.0%増)と、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主にその他(流動資産)が164,088千円、ソフトウェア仮勘定が102,983千円、投資有価証券が122,688千円増加し、一方で現金及び預金が196,569千円、受取手形及び売掛金が265,921千円、繰延税金資産が120,288千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ156,841千円減少し、7,647,789千円となりました。

負債は、主に預り金が98,898千円、その他(流動負債)が61,874千円増加し、一方で未払金が213,323千円、賞与引当金が220,803千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ312,622千円減少し、3,800,235千円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が75,543千円増加、その他有価証券評価差額金が80,237千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ155,781千円増加し、3,847,553千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、2023年5月12日に発表いたしました業績予想について変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,667,134	2,470,564
受取手形及び売掛金	2,257,598	1,991,676
商品	56,344	57,407
仕掛品	204,698	227,093
貯蔵品	9,486	9,937
その他	200,459	364,547
貸倒引当金	△48,929	△54,997
流動資産合計	5,346,792	5,066,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,215,115	1,246,153
機械装置及び運搬具	17,487	15,289
工具、器具及び備品	782,312	809,946
土地	52,640	52,640
リース資産	85,070	85,070
建設仮勘定	4,400	1,800
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,270,222	△1,297,967
有形固定資産合計	886,805	912,932
無形固定資産		
商標権	98,184	95,168
ソフトウェア	157,973	145,441
ソフトウェア仮勘定	167,381	270,364
その他	19,247	15,576
無形固定資産合計	442,786	526,549
投資その他の資産		
投資有価証券	227,746	350,434
敷金及び保証金	266,933	281,736
繰延税金資産	590,032	469,744
その他	44,049	40,984
貸倒引当金	△2,265	△2,265
投資その他の資産合計	1,126,496	1,140,634
固定資産合計	2,456,087	2,580,117
繰延資産	1,750	1,441
資産合計	7,804,630	7,647,789

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,820,748	1,853,703
リース債務	6,811	3,310
未払金	762,014	548,690
未払法人税等	31,797	4,642
預り金	222,606	321,505
賞与引当金	295,143	74,340
役員賞与引当金	22,946	2,632
その他	151,635	213,510
流動負債合計	3,313,703	3,022,335
固定負債		
リース債務	1,825	1,640
退職給付に係る負債	719,684	698,370
役員退職慰労引当金	19,583	20,927
その他	58,062	56,962
固定負債合計	799,154	777,900
負債合計	4,112,858	3,800,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,760,117	1,760,117
利益剰余金	1,956,482	2,032,025
自己株式	△182,641	△182,641
株主資本合計	3,633,959	3,709,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,813	138,051
その他の包括利益累計額合計	57,813	138,051
純資産合計	3,691,772	3,847,553
負債純資産合計	7,804,630	7,647,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,414,206	4,153,438
売上原価	2,950,156	3,370,250
売上総利益	464,049	783,187
販売費及び一般管理費	589,059	552,490
営業利益又は営業損失(△)	△125,009	230,696
営業外収益		
受取利息	—	4
受取配当金	—	375
持分法による投資利益	1,484	—
為替差益	9,563	10,720
受取賃貸料	435	507
業務受託手数料	1,118	1,189
助成金収入	75,134	—
雑収入	13,010	810
営業外収益合計	100,745	13,607
営業外費用		
支払利息	81	30
雑損失	37	74
営業外費用合計	119	104
経常利益又は経常損失(△)	△24,383	244,200
特別利益		
固定資産売却益	43	—
投資有価証券売却益	97,602	—
特別利益合計	97,646	—
特別損失		
固定資産除却損	9	1,745
特別損失合計	9	1,745
税金等調整前四半期純利益	73,253	242,454
法人税、住民税及び事業税	4,343	5,458
法人税等調整額	45,776	77,838
法人税等合計	50,120	83,296
四半期純利益	23,133	159,157
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,720	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,853	159,157

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	23,133	159,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,340	80,237
その他の包括利益合計	9,340	80,237
四半期包括利益	32,473	239,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,194	239,395
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,720	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア	ライブ・ コンテン ツ	ソリュー ション	計		
売上高						
メディア売上	813,800	—	—	813,800	—	813,800
ライブ・コンテンツ 売上	—	1,150,146	—	1,150,146	—	1,150,146
ソリューション売上	—	—	1,097,752	1,097,752	—	1,097,752
映像制作売上	352,506	—	—	352,506	—	352,506
顧客との契約から生じ る収益	1,166,307	1,150,146	1,097,752	3,414,206	—	3,414,206
外部顧客への売上高	1,166,307	1,150,146	1,097,752	3,414,206	—	3,414,206
セグメント間の内部売上 高又は振替高	16,948	139,577	1,885	158,411	△158,411	—
計	1,183,255	1,289,723	1,099,638	3,572,617	△158,411	3,414,206
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	137,670	△166,217	2,677	△25,868	1,485	△24,383

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等1,485千円であり
ます。2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行って
おります。3. セグメント情報の各売上区分につきましては、メディア売上には有料放送事業、オンデマンド事
業の売上、ライブ・コンテンツ売上にはイベント事業、ライブハウス事業、マネジメント事業、
エージェンツ事業、アライアンス事業、コンセプトカフェ事業の売上、ソリューション売上には、
ディストリビューション事業、ファンクラブ事業、EC/MD事業の売上、映像制作売上には映
像制作事業の売上がそれぞれ含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア	ライブ・ コンテン ツ	ソリュー ション	計		
売上高						
メディア売上	716,283	—	—	716,283	—	716,283
ライブ・コンテンツ 売上	—	1,748,222	—	1,748,222	—	1,748,222
ソリューション売上	—	—	1,406,211	1,406,211	—	1,406,211
映像制作売上	282,720	—	—	282,720	—	282,720
顧客との契約から生じ る収益	999,004	1,748,222	1,406,211	4,153,438	—	4,153,438
外部顧客への売上高	999,004	1,748,222	1,406,211	4,153,438	—	4,153,438
セグメント間の内部売上 高又は振替高	17,798	136,857	2,080	156,736	△156,736	—
計	1,016,803	1,885,079	1,408,291	4,310,175	△156,736	4,153,438
セグメント利益	111,254	81,274	54,011	246,541	△2,340	244,200

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△2,340千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. セグメント情報の各売上区分につきましては、メディア売上には有料放送事業、オンデマンド事業の売上、ライブ・コンテンツ売上にはイベント事業、ライブハウス事業、マネジメント事業、エージェント事業、アライアンス事業、コンセプトカフェ事業の売上、ソリューション売上には、ディストリビューション事業、ファンクラブ事業、EC/MD事業の売上、映像制作売上には映像制作事業の売上がそれぞれ含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。